

令和3年第1回豊山町総合教育会議 議事録

- 1 開催年月日 令和3年1月15日（金）午後3時00分～午後4時20分
- 2 開催場所 豊山町役場 会議室3・4
- 3 出席者 町長 鈴木 邦 尚
教育長 北 川 昌 宏
教育委員 小 出 正 文
教育委員 後 藤 明 美
教育委員 鈴 木 森 晶
欠席者 教育委員 中 田 め ぐ み
説明のために出席した職員等
事務局長兼生涯学習課長 安 藤 憲 司
教育参事 小 川 貴
学校教育課長 井 戸 茂 治
学校教育係長 菊 地 智 行
書記 学校教育係主事 犬 飼 大 揮
- 4 傍聴者 なし
- 5 議題 小中学校校舎の整備について
(1) 豊山町学校施設改築・長寿命化計画について
(2) 中学校の移転・新築について
- 6 会議資料 資料1 豊山町学校施設改築・長寿命化計画について
資料2 豊山中学校の移転・新築について
資料3 小中学校の長寿命化計画策定に関するこれまでの経緯
- 7 議事内容
事務局 長： ただ今より、令和2年度豊山町総合教育会議を始めさせていただきます。最初に鈴木町長から、ご挨拶をお願いいたします。
町 長： 明けましておめでとうございます。本日はご多忙の中、「豊山町総合教育会議」にお集まりいただきありがとうございます。
この総合教育会議は、ご承知のとおり町長と教育委員会がより密接に連携していく場として設置されています。近年の教育に関する課題は他の行政分野との関わりも深く、町長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育のあるべき姿を共有し、より一層町民の意思を反映した教育行政の推進が求められています。

今回の議題は、「小中学校校舎の整備について」でございます。

特に豊山中学校については、築60年になろうとしており、改修の適正な時期を過ぎ、建替えが必要な状況です。

建替えについては、財政規模の小さい本町にとっては財政負担が大きな課題となります。また、学校の機能や役割を考慮すると、生徒の学習環境をはじめ、将来を見据えた施設整備への配慮も必要であります。

本日は、様々な視点からご意見をいただき、中学校の建替えを、将来の豊山町のまちづくりや活力につなげる、そんな道筋を考えていきたいと思っております。

以上について、限られた時間ではありますが、実りある議論ができればと考えております。

よろしくお願ひいたします。

事務局長： それでは、議題に入らせていただきます。議題1、議題2それぞれについてご協議いただきたいと思っております。学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長： —説明—

事務局長： 説明が終わりました。議題1、議題2について、どの点でも結構ですので、ご意見やご感想、ご質問がございましたら、よろしくお願ひいたします。

小出委員： 各学校の利用状況とありますが、昨今言われている35人学級となった場合、計画に影響はございますか。

教育参事： 35人学級を現状に当てはめた場合、来年度の変更はございませんが、将来的には増える可能性はあります。

事務局長： そういった学習環境の変化も含めまして、今後検討していく必要があると考えています。

教育長： 現状の試算ですが、将来5年間でクラス数が増える学級はないため、当面は影響ございません。よって、教室の数が足らなくなるといったことはない想定しています。

後藤委員： 豊山小学校、豊山中学校は改築が望ましいとのことですが、仮設校舎を建てるための費用や、工事期間が分かっているのであれば参考に教えてください。

学校教育課長： 試算ではありますが、豊山中学校内に仮設校舎を建てるのに約5億円、期間は2年間ほどと想定しています。

鈴木委員： 学校選択制を導入するのはいかがでしょうか。

教育長： 学校選択制は、機会均等の観点から義務教育には適さないと考えています。

- 町 長： 私は反対ではございませんが、地域コミュニティを無視するのは問題だと思います。
- 後藤委員： 豊山小学校、豊山中学校は別の目的での利用を考えていますか。
- 町 長： はい。学校を新築するなら文部科学省からの補助金を受けるのが必須となります。補助金を得るためには、避難所としての利用はもちろんのこと、地域コミュニティでの利用が前提となります。
- 後藤委員： 学校を移転するとして、空いた土地はどうなるのでしょうか。
- 町 長： 中心地域の発展のため、例えば公園として利用するのはどうかと考えています。
- 後藤委員： 保護者としましては、中学校は多感な時期であるため、仮設校舎ではない安定した学習環境を与えたいと思っています。
- 町 長： 各校トイレを最優先で改装したいと考えております。ただ、今のトイレを改装するだけでよいのかという問題もあります。
- 鈴木委員： 和式洋式の比率など、各校のトイレの整備状況はいかがでしょう。
- 事務局 長： 和式洋式それぞれに抵抗がある、または身体的な理由から利用できない方もいますので、各トイレに1か所は洋式トイレを設けるような整備をしています。
- 鈴木委員： 学校であれば避難所となることもあるので、全部洋式にするのも悩ましいですね。
- 大学のトイレ改修は、1か所100万～200万ほどの費用と聞いたことがあります。小中学校においても、そのくらいの費用はかかりますか。
- 学校教育課長： 学校については、トイレ男女1系統につき6,000万円ほどだと想定しています。学校のトイレは悪臭が特に酷く、解消するには排水管ごと改修する必要があるためです。
- 事務局 長： 最後に委員の皆様から町長へご意見があれば、議題に限らずいただきたいと思えます。
- 後藤委員： 町内に暗いところもあり、夜間ももう少し明るいと思えると安心できると思います。
- 町 長： ご意見ありがとうございます。街路灯は道路管理者が整備しています。防犯灯については、自治体にもよりますが、本町は町が直営で設置しています。そのため、指摘があれば町で対応しているのが現状です。
- 小出委員： 議題については、概ね町長の意見に賛同いたします。
- 青山の地域は、開発が遅れているという意識が住民にはあるため、防災拠点の整備が新しい開発につながればよいと思っています。

事務局 長： 委員の皆様、ご意見ありがとうございました。以上をもちまして、本日の協議をすべて終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。